

令和7年度 青葉台幼稚園 事業報告

1 法人運営事業

法人運営については、理事会、評議会を中心として法人の円滑な運営に努めました。
理事会、評議会の開催状況は別紙議事録を参照ください。
平成29年度から内閣府によって導入された子ども子育て新制度に移行し、幼保連携型認定こども園としてスタートし、7年目も順調な運営となりました。
2019年10月から導入された保育料等無償化についても、順調に進行できています。
新型コロナウイルスの感染拡大を予防するための対応を状況に合わせ進めることができました。
感染症等、日常の安心安全に乳幼児の教育保育の活動展開が進展するように配慮しました。
星槎の三つの約束「人を排除しない・人を認める・仲間を作る」をモットーとして展開しました。

2 青葉台幼稚園の事業

☆ 建学の精神

「三つ子の魂百までも」という教えにもありますように、人間形成の基盤を培う大切な乳幼児期です。
私達は子ども達に柔軟で適確な対応をする力と、人間味あふれる感性豊かな心を育てなければなりません。
そして、21世紀に活躍する子ども達が、社会の複雑な諸現象の中で、様々な環境・様々な人々と関わる時、何事に於いてもゆとりを持ちながら、広い視野のもとに、主体的・創造的な意欲を持って臨めるように成長して欲しいと願っています。
その為に子ども・親・教師が三位一体となって、毎日積み重ねられていく生活を大切に考え、お互いにその教育力の効果を高め、将来への礎を築いていきたいと思ひます。

☆ 教育目的

幼児にふさわしい環境を与え、そこで幼児を生活させ、新教育要領に則り、一人ひとりにとって望ましい方向に心身の発達がよりよく促進されるように導きます。

☆ 教育の目標「五つの柱」

丈夫な身体……健康第一をモットーとし、息をはずませ、汗をかき、毎日行われる外遊び、また、運動遊びで活動でも体力、気力を養います。
素直な心……子どもの持っている純粋な気持ちを大切にしつつ、動植物を愛し、天真爛漫で誰からも愛されるような子どもを育成します。
考える頭……子どもの探究心を満足させ、想像力を広げながら様々な感覚を磨き、考えようとする姿勢を養います。
生活習慣……元氣一杯の挨拶、衣服の着脱や食事のマナー等、基本的な生活習慣を身につけさせます。
安心安定した……一人ひとりの気持ちを大切にし、情緒の安定を図りながら生活リズムを整えます。

※平成30年度から新教育要領に改訂され、小学校に向けて、幼児期の終わりまでに育って欲しい10の望ましい姿も各活動に絡み合わせました。

☆ 教職員の状況 (令和7年3月1日現在)

職名	人数	資格等	
常任理事	1	保育園施設長幼稚園教諭	理科中高教諭免許・カウンセラー資格
園長	1	保育園施設長幼稚園教諭	
副園長	1	保育教諭	
主幹主任	1	保育教諭	
幼児主任	1	保育教諭	育休職員1名
乳児主任	1	保育教諭	
常勤保育教諭	15	保育教諭	育休職員4名
非常勤保育教諭	11	保育教諭	
非常勤教諭	2	幼稚園教諭	
非常勤保育士	1	保育士	
非常勤看護師	3	看護師	
非常勤周辺業務	3		
常勤事務	1		
非常勤事務	1		
合計	43		

☆ 在園児数

学年	クラス	在園児数 3月31日			
		園児数	3号	2号	1号
0歳児	1	0	0		
1歳児	1	16	16		
2歳児	1	28	28		
3歳児	2	49		30	19
4歳児	2	52		30	22
5歳児	2	56		30	26
計	9	201	44	90	67

- ☆ 年間の活動計画と主な行事は年度初めに計画しました。
感染拡大を予防するための対応を状況に合わせて進めました。

- ☆ 子育て支援事業
幼保連携認定こども園の環境を広く子育てをしている地域の方へも活用して頂けるよう
園庭開放・未就園児の活動を感染対策と合わせて可能な限り実施しました。

- ☆ 特別支援児の受け入れ事業
例年と同様に補助教員を配属し、園児全体に人との関わりを充実させ、共生の中、
豊かな人間性を育め合えるような保育活動となるよう配慮し実施しました。

- ☆ 交流活動の充実を図る
園児も教職員も様々な人と直接関わり、社会性を育めるよう心掛けた。
・保護者のボランティア活動の実施は、可能な範囲で行事への参加は実施できました。
(親子参加活動、運動会、作品展等)
・年長児は近隣の保育園との交流会を行い小学校への期待を持つ活動ができた。
・地域の小学校との交流活動は小学校に訪問し幼保小接続期プログラムを実施できた。
・教育実習生の受入をし、研修生との豊かな関わりを体験することができた。
・就活の学生をインターンシップとして受け入れた。

3 運営上の留意事項

- ☆ 危機管理について
あらゆる災害から園児を守るため安全管理に努め、園児自らが事態に応じて安全な行動
が取れるように指導する。年間での学校安全計画を立てる。
令和7年度は、こども園9年目となり、全活動に対して更に十分な配慮と調整を図る。
新型コロナウイルスの感染、その他の感染症を予防するための配慮をしつつ活動の充実を図る。
植栽の充実を図る

- ☆ 健康管理について
園児・教職員の健康診断を実施し、日々健やかに生活できるように、健康管理と衛生面に
留意しました。
新型コロナウイルスの感染拡大を予防するための配慮をしつつ活動の充実を図ることができました。
・日々の体力作りを励行する
・園児健康診断の実施
・教職員の健康診断の実施
・園児歯科検診の実施
・身体測定の実施
・体力測定の実施

- ☆ 教職員の資質向上研修について
・園内・園外の研修に参加し、研鑽を積み資質向上に努めました。
・年度毎の園内研修テーマを設定し、研修を実施しました。
・特に園外研修についてはキャリアアップ向上を目指しオンラインを中心に参加の上各自研鑽することができました。
・小学校との交流を大切にし、幼保小の連携に努めました。

☆ 保護者との関わりについて

家庭との連携を図り、相互理解の基、子ども、親、教職員の三位一体のより良い保育活動の充実を図れるように努めました。

- ・園便りを毎月発行
- ・クラス便りを毎週発行
- ・居住地域確認調査、個人面談等の実施
- ・各家庭との連絡帳の確認と記入を適宜実施
- ・保護者会活動との上手な連携を図る
- ・保護者のボランティア活動との上手な連携を図る
- ・保護者向けの講習会を開催(案内)し、充実を図る。
- ・コドモンのアプリを導入し保護者への連絡に活用した。

☆ 苦情処理について

- ・第三者委員の協力を得て、引き続き園運営については順調に展開するように努めました。
- ・苦情処理マニュアルに則り、運営に当たり、問題の解決に速やかに対処いたしました。